

●海洋教育写真コンテストの入賞作品より、B部門（海の風景とくらし部門）の優秀賞の作品です。

右上は、南下浦小学校2年生の谷璃音（りおん）さんの作品です。子どもの目の高さで、下から見上げた構図、奥行きを感じさせる構図が見事です。「青い海」「カラフルなパラソル」、砂の色と影のコントラストも特徴的です。「夏の終わり」を感じさせるすてきな作品です。本人は「パラソルが、おはなみたいにみえた」と書いています。



左は、上宮田小学校3年生の関本尊斗（みこと）さんの作品です。タイトルは「どっちが空？海？」空の色をそのまま映したような青い海の色。おだやかな海に浮かぶヨット。そして、小高い丘。小網代湾らしい風景をカメラにおさめました。作者は「海がとっても青いので、どちらが空か海かわからなくなりそうでした」とコメントしています。空と海の青さに心を動かされたことが、コメントからも伝わってきます。

初声小学校3年生の田口愛倫（まりん）さんの作品です。タイトルは「Summer clouds & sea」初声の高円坊から眺めた三浦らしい景色。そこに堂々と存在感を見せつける大きな雲。作者は「夏らしい雲をしていて、海にマッチしていたので、シャッターを切りました」とコメントしています。大きな雲を眺めながらも、その雲が海とマッチしていることに気付いてシャッターを切る。三浦を愛しているからこそ生まれた作品ではないかと思えます。



南下浦中学校3年生の濱口侑己（ゆうき）さんの作品です。タイトルは「小網代の夕日」。アメリカの画家、クリスチャン・ラッセンの作品を彷彿させる見事な色合いと構図。小網代から眺める風景。奥行きを感じさせる構図も魅力的です。作者は、「空が近くから奥の方にだんだん明るくなっているところに心ひかれた」とコメントしています。コメントのとおり、赤のグラデーションが鮮やかで、引き込まれそうな思いになる作品です。



●11月30日（木）に、旭小学校の3年生が、ワカメの種差しに挑戦しました。指導していただいたのは、上宮田漁協の吉田利之さんです。最初に、ワカメの育て方と種差しの方法について説明を受けた後、実際に種差し体験をしました。子どもたちは、ワカメの苗を手づかみで



取り出し、育成させるためのロープに差していきます。ワカメの感触に悲鳴を上げつつも、作業を進めていきました。今回種差ししたワカメが、どれくらい育っているか、3か月後にまた確認に行くそうです。質問コーナーでは、「ワカメにオスとメスはあるのですか？」などという。大人も驚くような質問が出ていました。今後の授業で調べていくそうです。

（文責 事務局長 渋谷）